

京都ちーびず 成果報告書

<p>(区分) イベント名</p>	<p>該当に○をする (ちーたび) ちーびずマルシェ・女子のイチオシカフェ・その他) 「お弁当屋さんの社長が語る! 食育と農業体験 in 静原」</p>
<p>実施日</p>	<p>平成 26年 5月 27日 (火)</p>
<p>参加状況</p>	<p>地域のガイド・対応者(名前) 有限会社 京フーズ 遊食邸 社長 関佳彦さん CAFE MILEET 隅岡樹里さん 京都ちーびず実施団体 株式会社 カスタネット</p>  <p>イベント参加者 合計 19名 内訳(参加者 14名、もてなし側 2名、スタッフ 3名)</p>
<p>全体の評価 (箇条書きで1～2行ずつ)</p>	<p>(事業目的達成状況、応援隊の登録状況による成果、課題、今後に向けて等) ちーたびの目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊食邸社長である関さんから、事業の拡大よりも「食」の安心・安全を大切にしたいきっかけや地域(静原)でのつながりとその地域活動を聞くことにより、参加者が「食」や「農」への新たな気づきや学びを得ること。 ・集まった参加者同士が交流することにより、お互いのつながりや考えを深める場とすること。 <p>【目的達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標である定員20名近くの参加者が集まり、様々な「食」や「農」への意見交換ができました。 ・関さんと隅岡さんとの地域に根ざした食への社会貢献の話聞くことができ、改めて参加者自身の「食」への振り返りができる場となりました。

- ・参加者には、事業を始めようとしておられる方もおられ、関さんや CAFE MILEET さんとのつながりができたことで、ご自身の事業に参考にされる方がおられました。



関さんのお話



隅岡さんのお話

【登録状況】

- ・次回イベント参加希望者 7 名
- ・今回イベントでの登録者 9 名

【課題】

- ・日程が急遽決まったこともあり、事前の準備（訪問・打ち合わせ）不足でした。
⇒広告・PR（チラシ・HP）に静原地域の良さが伝わっていなかったのが残念です。
- ・当日の段取り（スケジュール）とは違っても、その都度臨機応変に対応する心構えは必要でした。
⇒関さんに臨機応変に対応して頂いたため、今回はスムーズにいきましたが、今後は開催側が先を見て判断する必要があります。
- ・ちーびず、ちーたびを参加者に分かりやすく伝える工夫は今後の課題です。
⇒今後、ちーたびを行っていくにつれて、より説明の内容を工夫していきたいです。

【今後に向けて】

- ・ちーたび初回でしたが、「地域貢献活動をされている社長が地域で語る」というテーマに関して、何かに挑戦したい、始めてみたいという方々には、大変興味深いことだと考えられます。
- ・継続することで参加者のターゲット層が広がると思われるため、シリーズ化もねらっていきたいです。
- ・関さんや CAFE MILEET さんの実施されている取り組みに対し、次回のちーたび実現に向けて具体的な話を進める機会を得ることができました。
- ・参加された方が、身近に感じられるような地域での社会貢献活動（今回のような芋づる植え体験など）が行える企画を練っていきます。

「体験・体感・全
員発言交流会」
での
ポイント
意見交換の内容

※複数のときは、用紙を追加してください。(体験・体感・交流会ごとに記載)

① ポイント (特徴、所感含む)

【遊食邸 関さんの話】

関さんの話では、主に事業拡大よりも手作り・無添加のお弁当作りに移行された経緯や、静原で自らが畑を耕し、食の安心・安全や農への熱い想いを中心に語って頂きました。

- ・プロも何度も失敗を重ねて学び、進んでおられる姿に励まされたとの意見が多数ありました。
- ・野菜も人間も同じという考えに共感された参加者がおられました。
- ・関さんの人柄と地域の人々との交流を見られ、嬉しさを感じている方が多かったです。
- ・2～3年は何事も続けることが大切だと痛感された参加者がおられました。



【まち歩き】

- ・自然あふれる中で、歩くことがとても健康に良いと感じていただけました。
- ・風や季節を感じることで、気分をリフレッシュされておられました。
- ・歩くことで話がはずみ、より親近感を持たれたと思います。



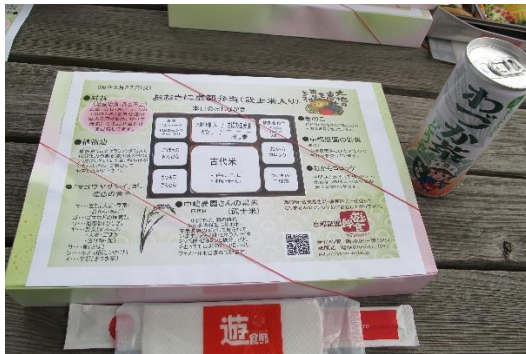
【芋づる植え体験】

- ・普段、土に触れることがない街中生活から離れてリラックスした時間を過ごしていただけました。
- ・EM菌のすばらしさを知っていただき、満足されておられました。
- ・祖父の畑を思い出され、懐かしく感じておられる参加者がいました。



【手作り・無添加にこだわった安心安全のお弁当／ヴィーガン(卵・バター不使用)ケーキ】

- ・安心、安全なものを食べることの大切さを再確認していただけました。
- ・太陽の下でお弁当を食べることでリフレッシュされておられました。



お品書き



お弁当



ヴィーガンケーキ



フレッシュハーブティー

【交流会】

- ・異世代が集まって様々な意見を言い合える交流会は、参加者にとって有意義な時間となりました。
- ・初めて会う人に知らないことを教えていただけるという喜びを感じておられました。
- ・食や人のつながりの大切さを思って活動している人たちが多く、行動にまで移しておられる姿に感動しておられる方が多くいました。

- ・関さん隅岡さんのお人柄にファンになられた方もおられ、熱心にお話をされている姿が見られました。



② 地域のおもてなし側の意見、気づきなど

【遊食邸 関さん】

関さんは、主に事業拡大よりも手作り・無添加のお弁当作りに移行された経緯や、静原で自らが畑を耕し、食の安心・安全や農への熱い想いを中心に語られました。

- ・2～3年は地域の人たちに畑のことが全く分からず認められなかったが、続けることによってその頑張りに応援者が増え地域の方々に教えてもらえる機会を得る中で認められていくという語りから、続けることによって地域との信頼関係を築くことができると気づかされました。
- ・コンビニの言う安心・安全と関さんの安心・安全は違う。しかし、食べるものは自分自身を作っていくものであるから、皆さんに地産地消や旬のものの意味を知って食べてほしいという関さんの願いより、食の安心・安全という意味を再確認する必要があるという学びを得ました。
- ・幸せな社員づくり、地域づくりを目指して、これからも心を込めたお弁当を作っていきたいという関さんの目標は、自分自身が幸せに感じることを行うことが、地域のためにもなると感じさせられました。
- ・本日のお弁当も、お品書きを書いてどこの産地かどんなメニューかを分かるようにしているという心配りは、お弁当に地産地消のメニューが記載されていると、地元へ愛着や親近感・安心感がわくと思いました。

【CAFE MILEET 隅岡さん】

隅岡さんは、社会や自然との共存を願われ、健康や安心ができる料理や居場所をつくりたいと、CAFE MILEETを静原に建てられました。人と人との温かなつながりを大切にし、心の込めたものを提供したいと語られました。

- ・社会や自然と調和のとれたライフスタイルへの想いを持ち、ヴィーガン(卵・バター不使用)料理を提供し、皆さんに食への安心・安全を届けたいというお話は、いただいたケーキは、卵もバターも使用されていないとは分からないほどおいしいケーキでした。心のこもったおもてなしを受けていると感じられました。

- ・酵素菌やオーガニックにこだわり、保存食作りや石窯を使った料理体験・アロマテラピーなど様々なワークショップを多数行い、たくさんの人々が健康的な生活を送れるお手伝いをしたいという隅岡さんの想いは、隅岡さん自身の人柄や居場所に魅かれ、たくさんファンを呼び込んでいるということに気づかされました。
- ・人と人とのつながりを大切にしていきたいという隅岡さんの考えから、関さんとのつながりも古くからの友達関係として強いパイプとなり、お互いが相乗効果となっておられることにつながると感じました。

③ 参加者側の応援意見など

- ・園児など子育て中のママにもほっと一息できる学びの場としてのPRもあれば良い。
- ・自分たちが植えた芋づるから育った芋を収穫するイベントをして欲しい。
- ・静原という自然豊かな土地の四季が感じられるイベントがあれば嬉しい。
- ・食育のことをもっと知りたい。
- ・若い人たちと交流できる機会があれば良い。
- ・関さんや隅岡さんのお人柄にふれ、静原ファンができ、個人的に訪れたいという参加者がおられました。

※ 当日の写真を必ず添付してください。